

令和6年2月

令和5年度 学校自己評価（教職員・保護者）結果

北九州市立八幡西特別支援学校

学校教育目標 児童生徒の健康面・安全面への配慮を教育活動の基盤とする。

病気や障害のある児童生徒にその特性と能力に応じた教育を実施し、可能な限り社会参加・自立を目指し、生涯にわたって生きがいをもって生活できるよう、個性を伸ばし、生きる力の育成を図る。

※昨年度を上回った評価を黄色で示しています。

教職員アンケート

	内 容	A、Bの割合		
		R3	R4	R5
1	児童生徒一人一人に対する教育実践から成果と課題を明確にし、指導改善を図っているか。	90	95	81
2	キャリア教育の視点に立った進路指導の全体計画に基づき、小・中・高等部の一貫した指導が進められているか。	67	73	68
3	児童生徒が主体的に進路を選択できるよう、関係機関や家庭との連携が図られているか。	93	88	82
4	施設設備の安全点検が定期的に実施されたか。	92	95	97
5	施設設備の衛生面・安全面に十分配慮しているか。	85	91	84
6	児童生徒の個人情報保護等、情報管理は適切に行われたか。	94	95	97
7	緊急時対応シミュレーションは、児童生徒・学校の実態に即した実践的なものになっているか。	92	95	90
8	児童生徒の健康・安全に十分配慮した教育活動を実施しているか。	96	96	92
9	特別支援教育コーディネーター・進路指導主事を中心とする支援チームを核とした支援体制で、相談事例の課題解決に向けた具体的支援が行われたか。	89	91	97
10	日々の教育実践に、地域の教育力を計画的・効果的に活用できているか。	61	71	75
11	地域との交流及び連携を進めていくことができているか。	36	66	80
12	授業公開や学校ホームページ、掲示、展示の工夫などにより、積極的に情報発信を行っているか。	73	81	78
13	個別の教育支援計画や個別の移行支援計画を保護者や関係機関と連携して作成し、活用しているか。	90	91	90
14	学部・学年通信などで、保護者に学校の情報を提供しているか。	98	100	96
15	教職員が組織として協働して課題解決を図ることができているか。	81	100	86
16	各校務分掌では、前年度の反省を生かし、目的や業務内容の点検・改善が行われているか。	82	88	88
17	校内研修は、自立活動に関する専門性を高めるものになっているか。	91	91	88
18	専門医等臨床研修や授業研究など研修の成果は、自立活動の指導改善に生かされているか。	91	93	91
19	二学期制によって、効果的に教育活動を実施できているか。		95	92
20	学校経営案に示す重点目標は適切であったか。	88	100	95

保護者アンケート

	内 容	A、Bの割合		
		R3	R4	R5
1	子ども一人一人に応じた学習指導ができている。	93	97	100
2	子ども一人一人に応じた進路指導ができている。	90	92	89
3	学校は、衛生面・安全面に十分配慮している。	87	90	94
4	子ども一人一人の健康・安全に配慮した教育活動をしている。	95	90	96
5	学校は、地域と連携した教育活動をしている。	84	92	96
6	学校は、授業を公開するなど、開かれた学校づくりをしている。	83	87	96
7	子どもの指導について、家庭や関係機関と密に情報交換している。	93	92	96
8	学部・学年通信や連絡帳などから、学校の様子が分かる。	97	95	100
9	学校は、前年度の反省を今年度に生かしている。	94	87	81

アンケート結果から

・教職員が90%以上評価している項目は20項目中10項目、保護者の評価に

関しても9項目中7項目で90%以上を得ることができました。

また、保護者アンケートについては、ほぼすべての項目で昨年度を上回る結果となりました。次年度も学校、保護者、地域、関係機関等の連携を図りながら安心・安全な学校づくりに努めてまいります。

・本アンケートで90%以下の項目については、改善の余地があると考え、両アンケート結果を照合しながら、課題解決に努めてまいります。